

ISOメルマガ(131105)

ISO9001・ISO14001の改正状況(11) 簡条4

ISO9001のDISへの移行が決定しました。この9月にCD(委員会原案)に対する投票が行われ、賛成51、反対11、棄権3となりました。この結果、ISO9001は次の段階のDIS(IS原案)作成に進むこととなりますが、約10,000のすべてのコメントを検討して作成されますので、現時点では来年4月にDISが発表される予定です。

なお、投票の際に、懸案事項であった3つの事項については次のように決定されました。

①「適用除外」の概念はなくなります。

組織の事業内容の性質の上から適用することができない要求事項を指定するための要求事項(ISO 9001: 2008の1.2項及び4.2.2a項)はなくなります。

②「製品」という用語は「商品とサービス」に変更することになります。

③「継続的改善」は「改善」になります。

今回は**簡条4**について概要を紹介致します。

これまでのメルマガで紹介して来たとおり、ISO9001及びISO14001ともに各種MSS(マネジメントシステム規格)の共通要求事項を採用して改訂作業が進められています。

簡条4についてのMSS共通要求事項は次の通りです(XXXは品質又は環境)。

4.組織の状況：

4.1 組織及びその状況の理解

組織は、**組織の目的**に関連し、かつ、そのXXXマネジメントシステムの**意図した成果**を達成する組織の能力に影響を与える、**外部及び内部の課題**を決定しなければならない。

4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解

組織は、次の事項を決定しなければならない。

- XXX マネジメントシステムに関連する利害関係者
- その利害関係者の要求事項

4.3 XXX マネジメントシステムの適用範囲の決定

組織は、XXXマネジメントシステムの適用範囲を定めるために、その**境界及び適用可能性**を決定しなければならない。

この適用範囲を決定するとき、組織は**次の事項を考慮**しなければならない。

- 4.1に規定した外部及び内部の課題
- 4.2に規定した要求事項

XXX マネジメントシステムの適用範囲は、文書化された情報として利用可能な状態にしておかなければならない。

4.4 XXX マネジメントシステム

組織は、この規格の要求事項に従って、**必要なプロセス及びそれらの相互作用**を含む、XXX マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、継続的に改善しなければならない。

CD の段階では、この MSS 共通要求事項に、ISO9001 及び ISO14001 固有の追加要求事項がそれぞれ追加されていますが、細分箇条だけでみると、ISO9001 には「4.4.2 プロセスアプローチ」が追加されています。

箇条 4.1 では、**組織の目的、意図した成果**を考慮しつつ、**外部及び内部の課題**を決定することが求められています。これまで中長期経営計画や年度計画を策定する際の進め方を考えれば、対応可能でしょう。ISO9001 では、関連する外部及び内部の課題を決定する際に 4 項目を考慮することを要求していますので、それに沿って決定すれば良いと思われます。

また、ISO14001 では、「組織の活動、製品及びサービスに影響を与える外部の環境状況を含む、外部及び内部の課題」のように、外部及び内部の課題の前に追加の記述がされています。

箇条 4.2 では、利害関係者及びその要求事項を決定することを求めています。

ISO9001 では、関連する利害関係者が示されていますので、それを考慮して決定することになります。また、ISO14001 では、要求事項には書かれていませんが、関連する利害関係者が CD の付属書に示されていますので、それを考慮して決定すれば良いでしょう。

箇条 4.3 では、**箇条 4.1** 及び**箇条 4.2** を考慮して、適用範囲を決定することを求めています。

ISO9001 では、この記事の最初に記述のとおり、適用除外の概念はなくなりますので、「商品及びサービス、それらを提供する主要なプロセス、及び含まれる組織のサイト」の面で記載することになります。また、ISO14001 では、MSS 共通要求事項の要素に加えられている「適用可能な法的要求事項、自主的義務、組織の構成単位、機能及び物理的境界、管理及び影響を行使しうる権限と能力」を考慮して決定することになります。

箇条 4.4 は、マネジメントシステムについての一般的要求がされています。

ISO9001 では、細分箇条「4.4.2 プロセスアプローチ」が追加されており、2008 年版の 4.1 項にあった要求をプロセスアプローチの要求事項として明確にしています。

一方、ISO14001 では、MSS 共通要求事項にある「必要なプロセス及びそれらの相互作用を含む」への対応が新たに必要になると考えられます。

このように箇条 4 は新たな要求が多くあるようにも見えますが、組織経営としてはこれまでも実質的に実施している内容なので、冷静に対応するとよいと思います。

また、追加される ISO9001 及び ISO14001 固有の要求事項の細かな表現は変わる可能性は十分ありますので、現時点でマニュアル等の変更をする必要はないと思います。

以上